

第10回 『補植・苗箱洗い』

と き 2013年6月8日(土) 9:30 -16:30

ところ 田んぼ、作業小屋前

天 気 晴れ

参加者 梅下・日菜・浩・二郎+秀、霧生(AM)・久保、佐々木・優(AM)、高橋、藤田(AM)
計11名(大人6+子供5)

【午前】

- ・田んぼの草取り及び補植作業
まだ苗が安定していないので、田車は使用せずに手や足で土の中に埋めていく。
その後から補植を行っていくので草取りする人と補植する人と分け、テツさんのハウス側から順に作業していこうと段取りする。
- ・小さいながらも結構草が出ていた。
- ・半分ほど進んだところで休憩をはさみ、黙々と作業を続け午前中で最後まで終了。
- ・補植しなければならないところもたくさんあったが、育っているところは順調に根付いていた。
- ・おたまじゃくしがたくさん泳いでいた。カエルも出てきて優くん捕まえる。しかし少し遊んですぐに返してあげた。
- ・お馬のブランコを出してくれたので子どもたちは喜んで乗っていた。

【お昼】 広場で昼食。

【午後】

- ・メンバーが減り、大人3人・子ども4人となり子どもも作業できる苗箱洗いを午後の作業として選択させてもらう。
- ・約400ある苗箱を前にどうなることか？作業開始。
- ・まず重ねたままの苗箱の側面をホースで流しながら洗う。次に水を張った風呂おけ(いつものではなくオレンジの大きい物)に5枚ずつ位入れて柔らかいブラシで洗い同じ型で分け、10枚1組を紐で束ねていき、ハウスの中に入れていく。
- ・暑かったため水を使う作業に子どもたちは大喜びで取りかかる。
小学生トークに花が咲く後ろで大人は黙々と作業。以外にも？役割分担がちゃんとできびしょ濡れになりながら洗い続け何とか作業を終える。
途中で力尽きた二郎は地べたに這ったまま寝てしまう。それぞれ子どもの性格が表れおもしろくそして頑張った苗箱洗いだった。
- ・子どもにつられ休憩もままならなかった大人も頑張った・・・。
- ・後片付けをして16:30頃終了する。

- ・佐々木さんよりテツさんのイチゴを使用した手作りジャムの差し入れをいただいた。

(記録：梅下)